



エコが千代田の自慢です！

エコチヨ

Vol.8 2018 秋号

Contents	p. 2-3	どんぐり観察と生きもの楽習会
	p. 4-5	大都会の中のミクロワールドを観察しよう
	p. 6-7	生きものさがし・セミ羽化観察会
	p. 8-9	クビアカツヤカミキリから千代田のさくらを守りましょう！
	p. 10	海ごみ問題
	p. 11	環境作品展

千代田区環境まちづくり部環境政策課
(一社)千代田エコシステム推進協議会
[春・秋 年2回発行]

秋の一日、北の丸公園で夢中になっ
てどんぐりを拾いました。
(2・3ページ参照)



10月27日（土）
どんぐり観察と
生きもの楽習会
を開催しました



区では、子どもたちが生物多様性を実感することが出来るよう、今年度からの新しい試みとして、小学生を対象にした「どんぐり観察と生きもの楽習会」を開催しました。



10月27日（土）、区役所に集まった子どもたちは、まず、専門のスタッフからどんぐりの種類や見分け方について説明を受け、その後、北の丸公園に移動して親子で一緒にどんぐりを拾いました。同じ公園の中でも、エリアによって違った種類のどんぐりが落ちているという話を聞いてびっくり、子どもたちはもう夢中、あっという間に楽しい時間が過ぎていきました。



いろいろな種類の
どんぐりがあったよ！



たくさん落ちているよ！





区役所に戻り、今度は大学生の皆さんと一緒に、さまざまな生き物について勉強しました。今回協力してくださったのは、法政大学人間環境学部の高田ゼミに所属する皆さんで、平成29年度の千代田区生物多様性大賞において最優秀賞を受賞した実績のある方々です。

彼らがこの日のために作ってくれたオリジナルの「生きものカルタ」を使って、小学生たちは生きものについて楽しみながら学ぶことができました。そればかりか、大学生の皆さんから、学生生活やゼミにおける活動の様子などといった話も直接聞くことができ、ともに楽しく有意義な時間を過ごしていました。



虫の間違ひさがしはとても難しい…

千代田区内の11大学と千代田区は、千代田の魅力創出と発展に協働して取り組むため、「千代田区内大学と千代田区の連携協力に関する基本協定」を平成15年1月に締結しました。環境政策課では、その大学連携の一環として、平成21年度より環境や温暖化対策を主題とした環境連携会議を開催しています。今後とも区内の大学と連携した取り組みを進めていきます。



法政大学高田ゼミの皆さん。
大学生活についての楽しい
お話もしていただきました。



顕微鏡で見ると…
ワオ！

参加者の声

楽しそうなイベントなので参加しました。室内での学習では、いろいろなブースでのお話がとても楽しく、大学生のお話も上手で楽しかったです。

<保護者>

どんぐりのことがたくさんわかってよかった。大学生とお話できて楽しかった。

<小学生>

今回の楽習会では、私たちの手作りブースで子どもたちにどうすれば楽しく学んでもらえるのかを直前まで試行錯誤し、本番まではとても緊張していました。しかし、本番では子どもたちの笑顔を見て、伝える側である私たちも一緒に楽しむことができ、私たちにとっても貴重な経験になりました！

ブースでの「野鳥カルタ」では鳥博士な子が、北の丸公園でのどんぐり観察では植物博士な子がいて、大人顔負けの知識にとっても驚かされました。

個性豊かで、一生懸命にこちらの話に反応してくれる子どもたちを見て、かつて私も持っていたはずの好奇心を取り戻せたような気がします！

<法政大学人間環境学部3年
岡藤さや香>



8月12日（日） 子どもゆめ基金助成事業 『大都会の中のマイクロワールドを 観察しよう 夏の巻』 を開催しました



好天にも恵まれた8月12日（日）に日比谷公園と日比谷図書文化館で開催しました。非常に多くの参加希望者から先着順で31名（子ども17名／保護者14名）が参加、夏の一日を楽しく過ごしました。

昨年度は大都市における自然の発見をテーマに開催しましたが、今年度はそれを進めて、大都市の中でいつもは見えない、見たくとも見えないマイクロワールドの自然を見つけるというテーマで開催しました。

子どもたちは、身近な環境に驚くほどたくさんの命が息づいていることに発見と驚きを感じ、さらに、それを表現することで季節ごとの生き物の変化などを理解してくれたようです。

①ミクロの世界へようこそ

はじめに事務局長からの挨拶のあと、観察担当の高橋先生からテーマ「ミクロの友達を探しに行こう！」そして「ミクロ人間をおもてなし」の概要説明がありました。

普段、目では見えないミクロの世界がどんなものかを探しに行くこと、そしてスマホ顕微鏡はミクロの世界へのパスポートであることの説明をしていただきました。

②スマホ顕微鏡を使ってみよう

教室でスマホ顕微鏡の使い方を練習し、佐々木先生からどのようなものを撮ったらいいかの説明を受けたあと、屋外で実際に使ってみました。

ミクロ人間をおもてなしするのに素敵な場所をみんなで探します。木や草だけでなく石など、実に様々なおもてなしの場所を探してくれました。



▼出来上がった子どもたちの
コラージュ作品。楽しいおも
てなしにあふれています



③コラージュでおもてなしを描こう

教室に戻り、自分のお気に入りの1カットと、なぜそれを選んだのか、どんなおもてなしをしたいのか、などをワークシートに記入して発表してもらいます。

お昼休み中に、子どもたちが撮ったお気に入りの1カットをプリントし、コラージュ用の用紙の準備を進めます。



最後に、みんなの作品をホワイトボードに貼り出して、どんなおもてなしをするかを発表してもらいました。



アート担当の岩田先生から説明を受け、ミクロ人間をおもてなしする場所を、1枚の写真をベースにして様々なコラージュを用いて描いてもらいました。



講師の先生（敬称略）

高橋麻美

科学コミュニケーター・

海洋研究開発機構 (JAMSTEC)

佐々木知幸 樹木医

岩田とも子 アーティスト

池田英彦 日本蘚苔類学会会員

宮嶋隆行

葛西臨海・環境教育フォーラム

7月25日(水)、8月3日(金)

生きものさがし観察会 & セミ羽化観察会

を開催しました

場所：北の丸公園、日比谷公園

生きものさがし

生きものさがし観察会は、猛暑による熱中症の危険があったため、北の丸公園での活動を急遽中止し、代わりに室内での講義を行いました。

屋外での活動ができなかったことは非常に残念でしたが、“五感で感じとる生きものの体験”をテーマに、さまざまな形で生きものにふれあう体験学習を行い、大好評でした。

①鳴き声を聞いて何の鳥かを当てるクイズ

<聴覚>



②葉のにおいで何の植物かを当てるクイズ

<嗅覚>



③生きものを指で触って当てるクイズ

<触覚>



④テントウムシの模様に着目し、めり絵で表現する

<視覚>



日頃、自分たちだけでは出来ない体験も多く、子どもたちは興味深そうに、非常に熱心に取り組んでいました。

参加された皆さんには、とても楽しんでもらったようで、さまざまな感想が寄せられました。



目、耳、鼻、手…感覚を使っての内容だったので、とても新鮮でした。外で探すだけではない楽しみを発見したと思います。

虫に触るのはちょっと怖かったけど、楽しかったです。

ふだん、あまり生きものを触ったり、嗅いだりできないので、いい体験ができました。

セミ羽化

夜に開催されたセミ羽化観察会では、長い地中生活から地上に出てきたセミが羽化する様子をじっくりと観察し、「生命の神秘」に感激していました。参加した皆さんからは、感動したという声が多く聞かれました。



参加者の声



4年間土の中で過ごして、まさに今日、セミになろうとしている瞬間が見られて感動しました。

先生のお話も楽しく、期待していた以上に充実した内容でした。セミの羽化の過程がよくわかって、息子も大感激でした。

昼間見るセミは、急に飛んできてくこともあってちょっと怖かったけど、羽化して成虫になる姿を見て、『がんばれ』と応援したくなりました。

都心にも素晴らしい自然があるということを実感することができ、親子ともども感動しました。ずっと心に残る思い出になると思います。

5月24日(木)～6月1日(金)

ゴーヤの苗を配布しました

場所：区内各所

夏の節電やヒートアイランド対策に対する啓発活動の一環として、緑化を推進するため、5～6月にゴーヤの育成セットを配布しました。毎日水やりをして大切に育てられたゴーヤは、ぐんぐん上に伸び、緑のカーテンとして立派に成長したようです。厳しい暑さが続いた今年の夏、自分たちで育てた緑のカーテンの効果を十分に感じていただけたのではないのでしょうか。

来年は、あなたもゴーヤを育ててみませんか？

育てた方の感想



今までで一番たくさんのゴーヤを収穫できてうれしかったです。今年の夏は特に暑かったので、小さなベランダですが、ゴーヤの緑が涼しげで心地よく過ごせました。

とても元気に育ったので、その成長を毎日楽しめました。一緒に育てるお友達と情報交換しながらできたので、来年もトライしたいと思います。



「緑のカーテン」とは聞いていましたが、こんなに目に鮮やかでかわいらしく、また、毎日収穫できたのは本当に嬉しい驚きでした。また、食後に種をコットンの上にのせて水をやったところ、かなりの確率で発芽し、プランターに植え替えたものは30cmほどの高さまで成長しました。冬の間もなんとか室内で育てようと思っています。



特定外来生物

クビアカツヤカミキリ

から千代田のさくらを守りましょう！

近年、「ヒアリ」、「セアカゴケグモ」などといった特定外来生物についてのニュースに接する機会が非常に増えていきます。これらの害虫と比較すると、「クビアカツヤカミキリ」は、人体への直接的な危険がないことから、あまり知られていません。しかし、サクラの木に寄生して大きな被害を与えることから、十分な注意が必要です。

■ 特定外来生物とは？

国外から持ち込まれた生物で、生態系や人の健康、農林水産物に被害を与える生物を、法律で「特定外来生物」として指定しています。特定外来生物は、飼ったり、生きたまま運んだり、野外に逃がしたり、輸入・販売したりすることが禁止されています。

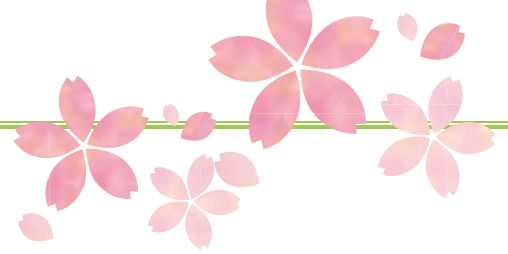
■ 「クビアカツヤカミキリ」ってどんな虫？

成虫は体長 2.5 ～ 4cm 程度、全体的に光沢のある黒色で、胸部（クビの部分）が赤いのが特徴です。幼虫がサクラ、ウメ、モモ、スモモなどの樹木に寄生し、木の内部を食い荒らしてしまう恐ろしい外来昆虫です。

原産地は中国、朝鮮半島、ベトナム北部などで、貨物などの物資にまぎれて日本に侵入したと考えられており、平成 30 年 1 月に、環境省より「特定外来生物」に指定されました。

■ 日本国内での状況は？

平成 24 年に愛知県で被害が確認されて以来拡大し、その後、栃木県、群馬県、埼玉県などでも被害が確認されています。多摩地域では、平成 27 年に初めてサクラで発生が確認され警戒していま



したが、今回ウメの被害の報告を受け、被害の拡大がにわかに懸念されています。

■どんな被害があるの？

幼虫が樹木に寄生し、幹や枝の内部を食い荒らし、時に枯死させてしまう害虫です。食害が進むと、枝が落ちたり木が倒れたりして、人が怪我をする恐れが出てきます。

さらに被害が大きくなると、お花見ができなくなる、果樹園の果実が実らなくなるなどの深刻な事態につながりかねません。場合によっては、被害の拡大を防ぐために、枯れていなくても木を伐採しなくてはならないこともあります。そうした事態を避けるため、早期発見、早期防除が必要になるのです。

■被害の確認の方法

クビアカツヤカミキリの幼虫が幹や枝に侵入すると、根元に大量のフラス（幼虫のフンと木くずが混ざったもので褐色のかりんとう状の比較的硬い物体）がばらまかれて溜まります。フラスがあれば、その樹体内に幼虫がいることがわかります。

■フラスを発見した場合には……

千代田区環境政策課、もしくは環境省関東地方環境事務所にご連絡ください。

クビアカツヤカミキリは、非常に繁殖力が強いと言われています。千代田区内で被害が発生することがないように、早期発見にご協力をお願いします。



▲幼虫に食害された樹木の断面



▲サクラの根元に散乱したフラス



▶フラス

**発見した場合、
ご連絡いただく
ことは……**

- ▶発見日時
- ▶発見場所（できるだけ具体的に）
- ▶発見時の状況
- ▶可能であれば、写真の撮影

ご連絡・お問い合わせは…

千代田区環境政策課
03-3264-2111
環境省関東地方環境事務所
048-600-0817

知っていますか？ 海ごみ問題

いま世界の海で、私たちの暮らしなどから海に流れ出る「海ごみ」が大きな問題になっています。

- ①海面や海中を漂っている「漂流ごみ」
- ②海底に沈んでいる「海底ごみ」
- ③海岸に流れ着いたり捨てられたりしている「漂着ごみ（海岸ごみ）」

これらを総称して「海ごみ」と呼んでいます。

海ごみは、直接海に捨てられたものだけではありません。雨で川が増水すると、河川敷のごみが海に運ばれてしまいます。また、街中に捨てられたごみが、風に飛ばされて川などに運ばれ、結果的に海に流れ出てしまうこともあるのです。

広い海を漂っていたり、海底に沈んでいたたりす



るごみは、すべてを回収することは困難です。海の生き物が食べ物と間違えて、ごみを食べてしまうこともあります。

私たちにできることは？

世界の海で問題になっている海ごみは、身近な取り組みを始めることで、減らしていくことができます。あなたも海ごみ対策ははじめませんか。

- ①日々の生活から出るごみを減らしましょう
- ②外で出たごみは家に持ち帰って処分しましょう



◀ 路上の放置ゴミが海へ流れ出てしまうことも

知らず知らずのうちに……

日本の海岸に漂着しているごみを見てみると、「レジ袋等のポリ袋」や「ペットボトル」など、私たちの生活の中から発生している「生活系のごみ」が約半分を占めていることがわかりました。

さらに、この海ごみの大半はプラスチックです。プラスチックは自然にはほとんど分解されず、環境中に長い時間残留します。

また、最近特に心配されているのが、プラスチックが紫外線や波の力により細かく砕けたかけら「マイクロプラスチック」です。洗顔料などの「スクラブ剤」にもマイクロビーズと呼ばれるマイクロプラスチックが使われている場合があります。

▼ マイクロプラスチックは5mm以下
小さいけれど、環境への影響は深刻です



10月21日～27日

環境作品展

を開催しました



小学生が「環境」をテーマにポスターを、中学生が「地球温暖化を防ぐ」をテーマに標語を作成しました。

皆さんも「環境」について改めて考えてみませんか？



▲『STOP! 海へゴミ捨て』

麹町小学校 5年1組 関 いちるさん

▶『エコバッグを持ってレッツゴー』

九段小学校 6年2組 江藤 陽香さん



▲『ぼくに協力して!!』

富士見小学校 5年1組 新井 優菜さん

◀『未来生きる地球を守ろう』

番町小学校 5年2組 加藤 花野さん



▲『美しいを守ろう』

お茶の水小学校 5年2組 田島 璃菜さん

▶『リサイクルのボタンをつなごう!』

千代田小学校 5年1組 田中 ゆゆさん



▲『地球は黒かった!?!』

昌平小学校 5年1組 木幡龍太郎さん

◀『みんなで地球温暖化をとめよう!!』

和泉小学校 4年1組 阿部 詩音さん

二酸化炭素 みんなで減らして未来をつくる

麹町中学校 1年B組 大澤 未祈さん

救おう! 緑の地球 みんなが地球防衛隊

麹町中学校 1年I組 根岸 良美さん

僕の夢 百年後まで 青い地球

麹町中学校 2年D組 新崎 綾子さん

持ち歩こう 優しい気持ちとマイボトル

麹町中学校 3年D組 藤野 高士さん

今に生かそう 昔の人のエコな知識

神田一橋中学校 1年1組 木村 奈津子さん

服装を涼しく 地球も涼しく

神田一橋中学校 2年2組 亀井 絢乃さん

CO₂ みんなで減らす 協力戦

神田一橋中学校 3年1組 金子 瑠花さん

あきらめない みんなの協力 改善へ

神田一橋中学校 3年3組 津布久 大輝さん

温暖化対策 誰かがじゃなくて自分から

九段中等教育学校 1年3組 平田 真緒さん

日常の 一工夫が 地球を救う

九段中等教育学校 2年3組 川口 南さん

個人の努力で 止める温暖化 広める省エネ

九段中等教育学校 3年4組 川崎 慧さん

リサイクル 地球サイズの思いやり

九段中等教育学校 3年4組 武藤 悠朔さん

(一社) 千代田エコシステム推進協議会の 活動に参加して CO₂ 削減に取り組みませんか？



(一社) 千代田エコシステム推進協議会では、区に関わる人や組織が取り組みやすい環境マネジメントシステム「千代田エコシステム (CES)」の普及・啓発に努めています。 **千代田 CES** で検索！

参加する

CO₂削減について学び、
考えていただくための
各種イベントや講座に
参加する

登録会員になって 情報を受け取る。

***登録会員の会費は無料です。**

メールまたは FAX にてご案内をお送り
します。お名前・ご住所・ご連絡先
(メールアドレスまたは FAX 番号) を
明記の上、下記までご連絡ください。

■ mail : info@chiyoda-ces.jp
■ FAX : 03-3221-3405

クラスⅢを 導入する

千代田区独自の環境マネジ
メントシステム(クラスⅢ)へ
参加し、監査と認証を
受ける

ISO14001 よりも安価で簡易に運
用できる環境マネジメントシス
テムです。業務の効率化やコスト削
減効果が期待できるうえ、千代田
区の各種優遇制度も利用可能にな
ります。監査料 4 万円～。お見積
り等、お気軽にご相談ください！

■ TEL : 03-5211-5085
■ mail : info@chiyoda-ces.jp

会員になる

(一社) 千代田エコシステム推進
協議会の活動を支え、
一緒に運営する
会員になる

会員募集中です！

区分	正会員	賛助会員
教育機関	60,000 円	30,000 円
企業 (資本金 1 億円以上)	60,000 円	30,000 円
企業 (資本金 1 億円未満)	20,000 円	10,000 円
上記以外の 団体	10,000 円	5,000 円
個人	2,000 円	1,000 円

■ 会 員 (2018 年 10 月時点、敬称略・順不同).....

【企業】 三菱地所株式会社、株式会社大塚商会、東京電力パワーグリッド株式会社銀座支社、東京ガス株式会社中央支店、東洋美術印刷株式会社、株式会社東畑建築事務所、前田建設工業株式会社、株式会社小学館集英社プロダクション、徳和 FP カレント、株式会社ユニパック、株式会社林事務所 **【教育機関】** 学校法人日本歯科大学、学校法人法政大学、学校法人専修大学、学校法人明治大学、学校法人大妻学院、学校法人二松学舎、学校法人東京家政学院 **【団体】** 東京商工会議所千代田支部、千代田区商店街連合会、千代田区連合町会長協議会、公益財団法人まちみらい千代田、2×3 スリーレッグ、千代田区商店街振興組合連合会、神田駅西口商店街振興組合、ちよだ@森の配達人、千代田区 **【個人】** 94 名

(一社) 千代田エコシステム推進協議会

『エコチヨ』へのご意見・ご感想はこちらまでお寄せください

千代田区環境まちづくり部環境政策課

住所：〒102-8688

千代田区九段南1-2-1千代田区役所5階

電話：03-5211-4255(企画調査係)

FAX：03-3264-8956

メール：kankyouseisaku@city.chiyoda.lg.jp



(一社) 千代田エコシステム推進協議会

住所：〒102-8688

千代田区九段南1-2-1千代田区役所5階

電話：03-5211-5085

FAX：03-3221-3405

メール：info@chiyoda-ces.jp



発行・編集：千代田区環境まちづくり部環境政策課／(一社)千代田エコシステム推進協議会
ロゴデザイン：御茶の水美術専門学校 河内彩子様 発行日：2018年11月
*本誌に掲載された情報は2018年11月現在のものです。掲載された記事・写真・地図・イラスト等の無断転載・複製を禁じます。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用